

第1回 ガイドライン部会 討議概要

平成19年7月25日 14:30~16:10

四国総合通信局 6階 会議室

I ガイドライン部会

1 平成19年度 ガイドライン部会の活動方針（案）の提案

＝全員一致で確認＝

2 ガイドライン等の検討に参考となる事例・資料等の紹介

3 ガイドライン等の作成状況等について

ガイドライン部会メンバーあて事前に照会した項目を中心に討議を進めた

(1) ガイドラインの現状等について

- ・ガイドラインありメンバー（団体）でガイドラインを策定しているところもあるが、地域コンテンツには参考とならないのでは・・・。
- ・ガイドラインなしメンバー（団体）では、ある程度の常識をもって、周囲等から「少なくともこういうことはするなよ」というところで、実際の収録、編集をしているが、問題発生の可能性は否定できない。
- ・コマーシャルベースとは異なるガイドラインで、どういう内容でやっていくかというのが今からの勉強。
- ・ガイドラインには、インターネットのものがない。放送とインターネットでは、全然考え方が違う。
- ・肖像権を意識し過ぎると地域コンテンツは、難しい。運営者の負担も大きい。著作権を完璧に処理しようとするれば、無理がある。
- ・放送事業者の番組では著作権を包括的に処理しているので、放送事業者間の素材の流通等は、意外とフリーに使えるというメリットがある。
- ・包括的処理ということが出ましたが、最近では、色々な著作権処理団体がでてきているので、注意が必要。
- ・映像を作る場合、権利関係が先行すると、なにもできない現実あり。一方、そういう中でも、ある程度、法的バックアップは必要と思う。

(2) ガイドラインの策定について

- ・ガイドラインを作る場合には、使用態様等も想定し、流れに沿ったものを意識しなければならないのかなと思う。
- ・映像作品は性善的な対応しているが、サブリミナルやフラッシュと判断されるものなどについて、チェックも必要、しかし対処することは大変。
- ・概観できるものを作成し今後の参考にしていく。とりまとめの程度や紙にす

ることの適否もあるが、資料的には作成し、それぞれの共通認識としてもっておくことでどうか。

- ・インターネットでは改編権が二次利用者にあるかのように誤解しているものもあるのではないかと、そういう意味で言えばなんらかの指針防護策、妥協できるようなものは必要ではないか。

●(1)及び(2)の意見等の総括

- ・ルールづくりが必要ということで、共通認識
- ・成果物としておさめるガイドラインについて、作成方針、編集方針を考えた。作成するガイドラインは、大きく3つに区分する①制作者サイド②流通サイド③管理サイド。今年度は、地域コンテンツの創作の活性化を図ることから、制作者側向けのガイドラインを作成することにしたい。

(3) 質疑

- ・コンテンツの二次利用をCATVであるとか、サーバーであるとか・・・対象や範囲によって内容が変わってくると思うが。
二次利用しないと地域に生かせない。
- ・二次利用の問題は、確かに避けてとおることのできないテーマ。
二次利用を制作者サイドの中に入れて話し合うのか、それ以外のフェーズで二次利用を組み込むのか整理が必要では。

(4) 応答

- ・今年度はコンテンツの制作シーンに関わるガイドラインを策定したい。
- ・制作する場面でも権利処理等きっちりしておくことと次の二次利用の時にスムーズに活用できる。制作以外のフェーズのところも関連づけながら検討していくことが必要。
- ・制作者のフェーズにおける二次利用の取扱いは、ビデオ等の初心者にも理解いただけるもの、一方では従来映像に携わられている方にも再チェック的な機能も盛りこむことが必要と考えている。
- ・ターゲットを絞れない。二次利用も想定するし、場合によっては、その必要のないコンテンツも想定。そういう意味で広く意見を集約したい。

●当面の討議方針

- ・二次利用の範囲を討議で確定した上で、制作者サイドを想定したガイドラインを考えていく。
- ・次回の部会（12月予定）までの討議はSNSにおいて進めていく。

【ガイドライン部会 メンバー】

部会長 四国大学 村井 准教授

副部会長 NHK松山放送局 山本チーフエンジニア

e-とくしま財団 佐光係長、大西主事

ケーブルテレビ徳島 北次長、ケーブルメディア四国 森下リーダ、

愛媛CATV 白石部長、高知ケーブルテレビ 広井課長(欠席)、オーエン

東代表取締役、南海放送映像サービス 眞鍋社長

本間知的財産事務所 本間弁理士(欠席)

第1回 人材育成部会 討議概要

平成19年7月25日 16:10~17:00

四国総合通信局 6階 会議室

■白石部会長及び事務局

H19年度の人材育成部会の活動(たたき台)については、SNSにアップし皆様に意見を聞きましたので、今年度は、そのたたき台にそって進めていきたい。

本日は、コンテストのことを中心に意見交換をしたい。

■事務局からのコンテストの提案に対して

- ・コンテスト作品の受け付け先を明確にすべき。

〇〇ケーブルテレビ 「四国コンテンツ映像フェスタ'07」係あてと
いうように。

- ・作品が届いたかどうか、提出者は、不安なので、作品が届いたことが確認できる送付方法勧める内容を募集要項に掲載してみてもどうか。

■事務局

改善する。

【人材育成部会メンバー】

部会長 愛媛CATV 白石 部長
NHK松山放送局 山本チーフエンジニア
ケーブルテレビ徳島 北次長、ケーブルメディア四国 森下リーダ、
高知ケーブルテレビ 広井課長（欠席）、南海放送映像サービス 眞鍋社長
四国大学 村井先生、穴吹カレッジ専門学校 川下課長、穴吹デザインカレ
ッジ壽福課長（欠席）、国際デザイン・アート専門学校 宮本教頭、国際デザ
イン・ビューティカレッジ 上岡部長（欠席）